

建築研究所ニユース



平成22年6月4日

「太陽熱利用に関する国際シンポジウム」を開催します。

温暖化対応は世界の最重要課題の一つであり、化石エネルギーから非化石エネルギーへの転換が求められています。そのなかで、太陽エネルギーは極めて有用な自然エネルギーとして利用拡大が期待されており、そのためにわが国でも太陽光発電の普及が進められているところです。しかしながら、住宅におけるエネルギー消費の最大用途である給湯用としての太陽熱利用は、極めて低調な状況が続いています。

本シンポジウムは、このような状況を打破し、太陽熱の有効利用を図ることをねらいとして、太陽熱のパッシブ利用や暖冷房・給湯用の太陽熱利用機器・システムに関する技術情報や研究開発状況についての情報交流・意見交換・成果の普及を目的として開催するものです。併せて、太陽熱利用において世界最大の生産量とストックを有する中国の専門家を招いて、その状況や今後の動向を伺います。

1. 名称 : 太陽熱利用に関する国際シンポジウム
2. 日時 : 平成22年6月28日（月）12:50-16:40
3. 場所 : すまい・るホール
4. 主催 : 独立行政法人 建築研究所、東京都市大学、中国建築科学研究院
5. 共催 : ソーラーエネルギー利用推進フォーラム
(日本ガス体エネルギー普及促進協議会)
6. 開催要領 : 別紙のとおり
7. 参加費 : 無料（ただし事前登録あり）
8. 資料 : 無料配布
9. 申込方法 : 別紙のとおり

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 環境研究グループ
氏名 桑沢保夫
電話 029-864-6683（直通）
E-mail kuwasawa@kenken.go.jp

太陽熱利用に関する 国際シンポジウム

温暖化対応は世界の最重要課題の一つであり、化石エネルギーから非化石エネルギーへの転換が求められています。そのなかで、太陽エネルギーは極めて有用な自然エネルギーとして利用拡大が期待されており、そのためにわが国でも太陽光発電の普及が進められているところです。しかしながら、住宅におけるエネルギー消費の最大用途である給湯用としての太陽熱利用は、極めて低調な状況が続いています。本シンポジウムは、このような状況を打破し、太陽熱の有効利用を図ることをねらいとして、太陽熱のパッシブ利用や暖冷房・給湯用の太陽熱利用機器・システムに関する技術情報や研究開発状況についての情報交流・意見交換・成果の普及を目的として開催するものです。併せて、太陽熱利用において世界最大の生産量とストックを有する中国の専門家を招いて、その状況や今後の動向を伺います。

開催概要

日時 | 平成22年6月28日(月) 12:50-16:40

場所 | すまい・るホール (地図・アクセスはウラ面に記載)

主催 | 東京都市大学、中国建築科学研究院、(独)建築研究所

共催 | ソーラーエネルギー利用推進フォーラム (日本ガス体エネルギー普及促進協議会)

内容 | 太陽熱利用の現状、太陽熱利用技術とその開発状況、将来展望などについて、日中双方の状況を報告します。

参加費
無料

プログラム

挨拶	東京都市大学 中村学長、中国建築科学研究院 李副院長、独立行政法人建築研究所 村上理事長
基調講演 13:00-13:20	「低炭素化社会へ向けて ～太陽熱利用に期待する～」 独立行政法人建築研究所 理事長 村上 周三 氏
特別講演 13:20-14:40	「国土交通省における取り組み」 国土交通省住宅局住宅生産課 企画専門官 山下 英和 氏
	「中国における太陽熱利用技術とその普及状況ならびに将来動向について」 中国建築科学研究院 建築環境・省エネ研究院 副院長 路 宾 氏
	「わが国における太陽熱利用と関連技術の現状ならびに将来動向について」 東京都市大学都市生活学部 教授 坊垣 和明 氏
《休憩》	14:40-14:55
一般講演 14:55-16:40	「自然のポテンシャルを活かした暖冷房技術」 東京都市大学環境情報学部 教授 宿谷 昌則 氏
	「中国における太陽熱利用製品の品質検査状況について」 中国建築科学研究院 高級工務士、中国再生可能エネルギー学会熱利用専門委員会 事務長 何 濤 氏
	「住宅分野における太陽熱利用への期待」 積水ハウス(株) 総合住宅研究所長 木村 文雄 氏
	「集合住宅向け太陽熱温水システム」 東京ガス(株) リビング企画部長 村関 不三夫 氏
	「ソーラーエネルギー利用推進フォーラムにおける取り組み」 神戸芸術工科大学 教授 小玉 祐一郎 氏
	「環境共生建築における太陽熱利用技術」 東京都市大学都市生活学部 教授 岩村 和夫 氏

参加ご希望の方は、以下の方法にてお申し込みください。

【FAXによるお申し込み】 下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記担当宛にお送りください。

【メールによるお申し込み】 ご住所・会社名・所属／役職・名前・電話番号をご記入の上、下記メールアドレス宛にお送りください。

参加申込書

ご住所 〒

会社名

所属／役職

名前

電話

e-mail @

※複数の方が参加される場合は、本参加申込書をコピーしてご利用願います。

※ご記入いただきました個人情報は、厳重に管理され、本フォーラムの手続き・手配以外の目的で使用することはありません。

申込期限

平成22年6月15日(火)まで

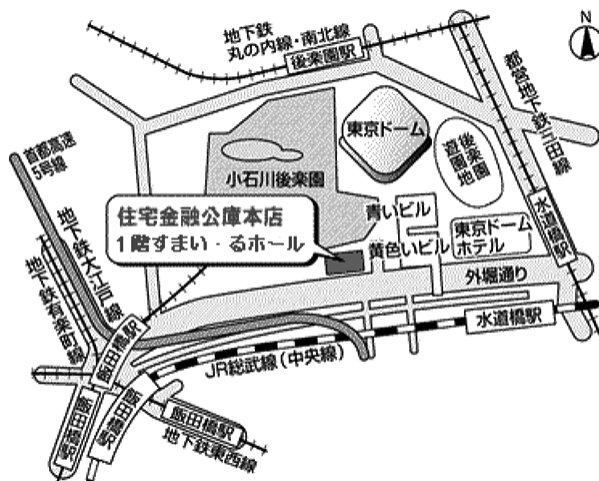
申込期限前であっても定員に達した場合は、締め切りますので、
お早めにお申し込みください。

※定員:200名

会場までのアクセス

すまいるホール:東京都文京区後楽1-4-10

- JR総武線 水道橋駅 西口 徒歩3分
- 営団地下鉄丸の内線 後楽園駅 徒歩7分
- 都営地下鉄三田線 水道橋駅 徒歩5分



お申込み先

日本ガス体エネルギー普及促進協議会 (事務局) 日本ガス協会業務部

江口・勝呂・田野井 ▶TEL:03-3502-0115 メールアドレス:tnr-s@gas.or.jp